

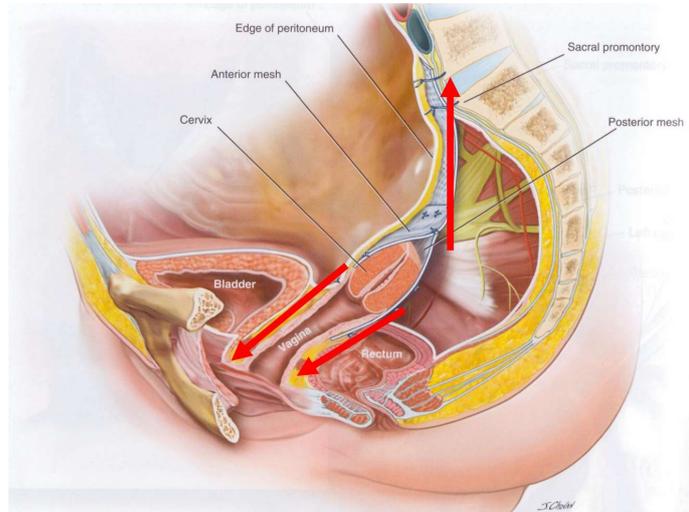
ロボット支援下仙骨腔固定術(RSC) ～骨盤臓器脱の治療～

このような骨盤臓器脱の患者さんはいませんか？
RSCの適応かもしれません。

- ・ペッサリーリングでうまく骨盤臓器が収まらなくなってきた
- ・日常生活に支障が出ている
- ・定期的な通院ができない・したくない
- ・夫婦生活に支障がある

ロボット支援下仙骨腔固定術の適応

- ①POP-Q 3期以上の骨盤臓器脱で自覚症状がある
- ②大きな合併症がない：
 - 糖尿病 (HbA1c<6.8)
 - 高血圧 (内服薬で十分管理されている)
 - 炎症性疾患、自己免疫疾患、腸管疾患がない
- ③子宮および卵巣の悪性腫瘍が否定されている
- ④抗凝固薬を内服していない



RSCの手術のメリット

- ①低侵襲な鏡視下手術
- ②再発率の低減効果
- ③出血量は極少量
- ④手術時間は約3時間
- ⑤入院期間は約7日間
- ⑥整容性が保たれる

ロボット手術担当からひと言

長島 克 (術者)

ロボット手術は、低侵襲かつ緻密な操作が可能な手術です。RSC以外にも、悪性腫瘍を含めた婦人科手術も随時開始していく予定です。何卒ご相談・ご紹介いただければと存じます。



東邦大学医療センター大森病院

〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1

代表Tel: 03-3762-4151, パートナーTel: 03-3762-6616

産婦人科 長島 (masaru.nagashima@med.toho-u.ac.jp) (診察日 水曜午前・午後、土曜午前)

www.toho-u.ac.jp

お気軽にご連絡ください！